

んでまいりました。医療を取り巻く環境や社会情勢は大きく変化しましたが、「地域の皆様の健康を守りたい」という私たちの想いは、開院当初からいささかも変わることはありません。

この40年の節目を迎えられましたのも、ひとえに患者様やご家族、そして地域の皆様の温かい支えがあったからこそ、深く感謝しております。

『予防は治療に勝る』 新たな挑戦

さて、40年目を迎える本年、当院は大きな変革に挑みます。

これまで「JA長野厚生連健康管理センター」が担ってこられた、高森町および豊丘村のヘルスクリーニング（健診）事業を、当院が

引き継ぐこととなりました。

長年、病気の「治療」に全力を注いでまいりましたが、これからは「予防」にも同等の情熱を注いでまいります。「予防は治療に勝る」という言葉があります。病気になるってから治すのではなく、病気になるない体をつくる、あるいは早期に発見して大事に至らせない。健診事業を通じて、地域の皆様の健康寿命を延ばすお手伝いができることは、私たちにとって大きな喜びであり、使命であると感じています。



地域を守る

『ケアミックス病院』

もちろん、万が一の際の備えも怠りません。当院は、急性期の治療から回復期、そして在宅復帰支援までを担う「地域包括医療病床」を有するケアミックス病院としての役割を、さらに強化してまいります。

特に、高齢者の救急医療においては、下伊那地域の「2次輪番（当番制）での救急受け入れ」体制の一翼を担い、昼夜を問わず安心して暮らせる地域づくりに貢献いたします。

また、糖尿病や高血圧、脂質異常症といった生活習慣病は、自覚症状がないまま進行する怖い病気です。こうした慢性疾患の療養指導にも力を入れ、お一人おひとりの生活背景に寄り添

った、きめ細やかな医療を提供してまいります。



▲外来看護師による
生活習慣病療養相談

40年の感謝を胸に

最後に、40年間の感謝を胸に、そしてこれからの未来に向けて、私たちは、予防から救急、日々の療養まで、切れ目のない医療で皆様の「安心」を支え続けてまいります。

本年が皆様にとりまして、笑顔あふれる健やかな一年となりますよう、職員一同心よりお祈り申し上げます。